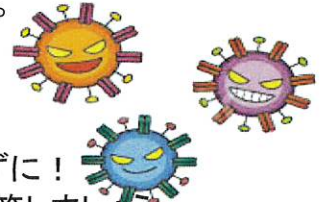




ほけんだより

上庄ひいらぎ こども園 12月

2021年は、新型コロナウイルスに翻弄される日々でした。その影響でこの冬はRSウイルスとインフルエンザの感染が危惧されています。今回は改めてこの感染症についてご案内します。保護者の皆さまには、園における感染対策へのご協力ありがとうございます。引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。



インフルエンザ対策の基本は接触・飛沫感染対策です。



- ① 手洗い・うがい 石鹸やアルコールでの手洗いを忘れずに！
- ② 温湿度調整 室温20度前後 湿度60%前後で調節しましょう。
- ③ 人ごみをさけましょう
- ④ 生活習慣 年末年始は特に生活のリズムも乱れがちです。栄養バランスを考えた食事や十分な睡眠(休息)で免疫力を高めましょう。
- ⑤ 予防接種 接種終了後、効果の発現までに約2週間ほどかかります。かかりつけ医と相談のうえ余裕をもって計画しましょう。

インフルエンザ脳症

小児の1割が発熱1～2日に異常言動が出現しています。この時期は子どもを1人にしないようにしましょう。

インフルエンザ罹患後の登園は

発症後5日経過し6日目より、且つ解熱後3日(乳幼児)経過していること。

RSウイルス感染症の予防策

- ▶ 手洗いの徹底
- ▶ 風邪症状のある人はマスクをして乳幼児に接する
- ▶ おもちゃは小まめに消毒する
- ▶ 流行時期はなるべく人混みを避ける



RSウイルス感染症は、4～6日の潜伏期間を経て発症。

年齢を問わず感染、大人も再感染を繰り返し、軽い風邪のような症状のため、家庭内で感染することも多いです。

小さい子どもほど細気管支炎や肺炎など重症化しやすく、注意が必要な感染症です。特に生後6ヶ月以内の乳幼児の場合は重症化しやすい傾向があります。

特徴と注意

- タンが詰まったゼイゼイするせき
- ゼーゼーのどが鳴る音(喘鳴)
- 発熱
- 数時間で突然重症化することがある(細気管支炎)



RSウイルス罹患後の登園のめやすは

「呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと」です。

2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドラインより

厚生労働省

感染した時には、重症化しないように十分に注意してあげることが大切です。

